

## レーザーレーダー光軸調整

### ■適応車種

ムーヴ(LA150S H26/12~H29/6)等

以下に故障診断機(G-scan)を使用した、スマートアシスト『レーザーレーダー光軸調整』の方法を記載しますので、参考にしてください。

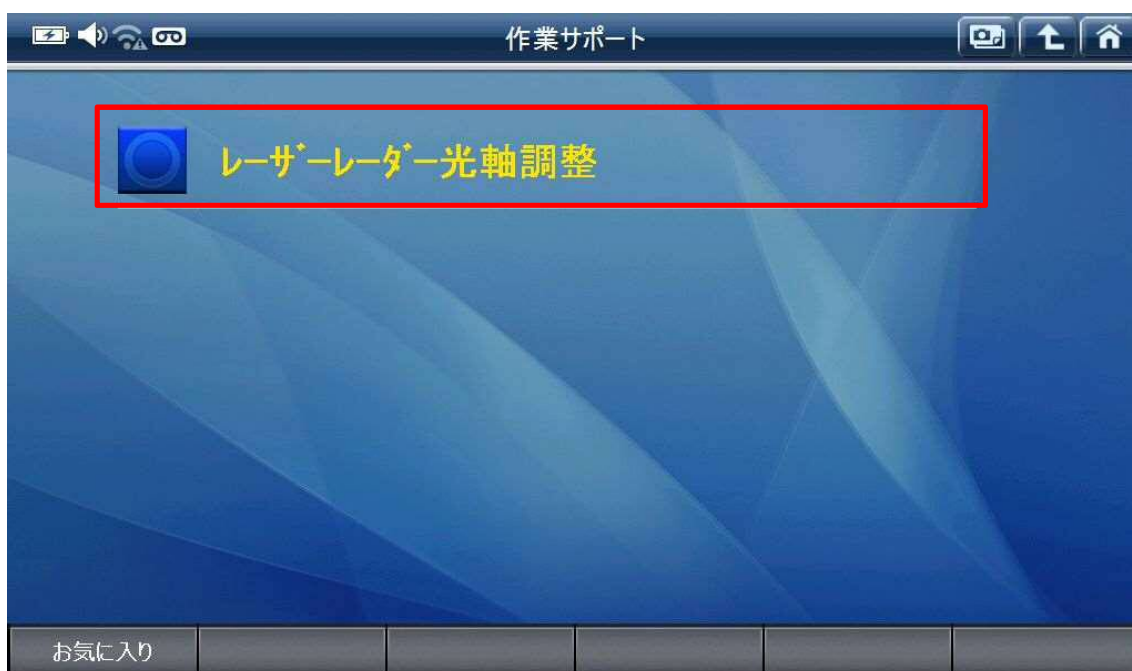
水平な床面に車両を設置して、整備解説書に従いターゲット等を設置してください。  
入力する数値は整備解説書を参照してください。

### ※注意※

- ・タイヤの空気圧を正規に調整する。
- ・車両内の荷物をおろす。
- ・レーザーレーダーセンサー発光部および受光部を清掃する。

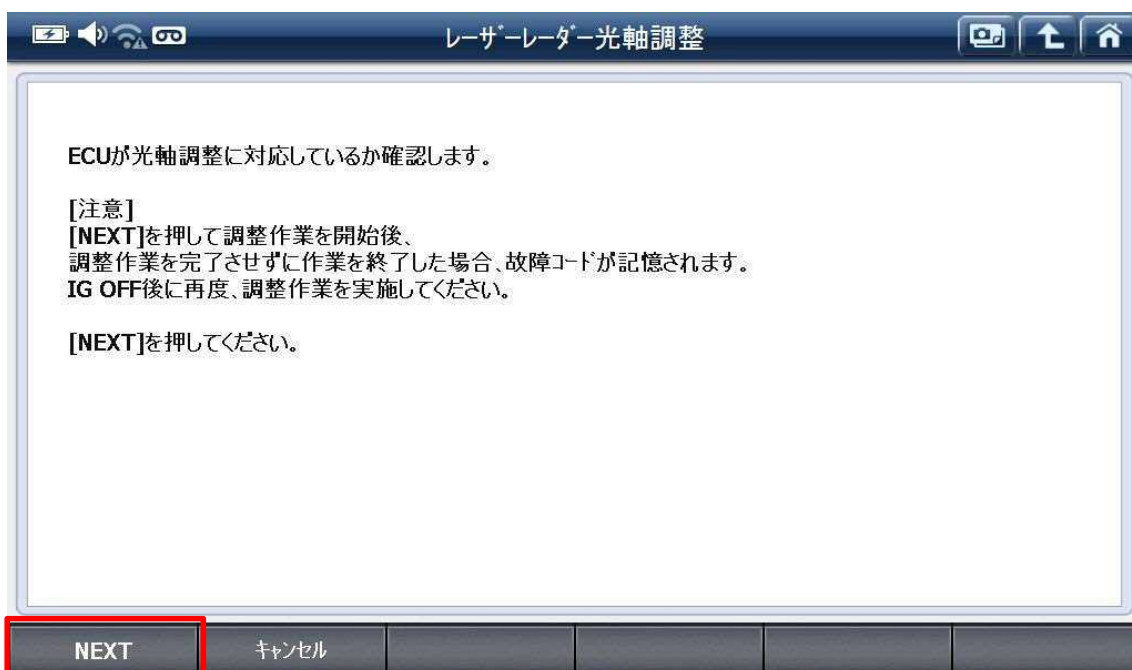
1. IG SW OFF の状態で診断コネクタ(OBD16 ピン)に G-scan を接続してください。
2. IG SW ON およびエンジン停止の状態で、G-scan の電源を ON にして、システムを選択してください。  
選択するシステムは車種を選択して、『PCB(プリクラッシュブレーキ)』から『作業サポート』を選択してください。

3. 『レーザーレーダー光軸調整』を選択してください。



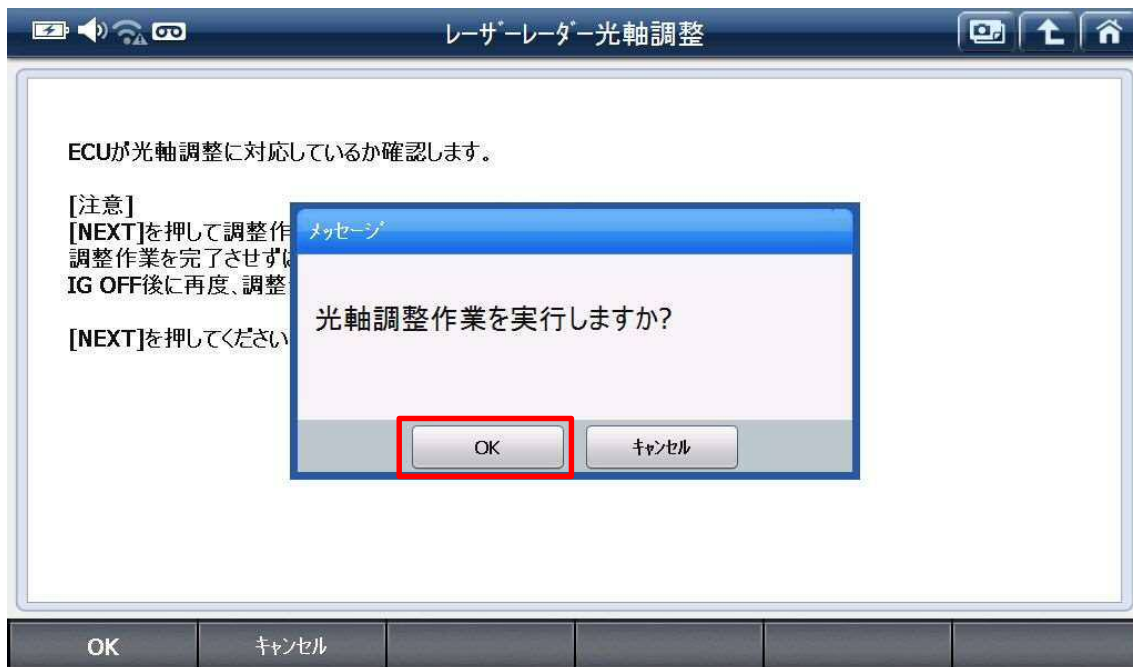
〈図:レーザーレーダー光軸調整を選択〉

4. 注意事項を確認して『NEXT』を選択してください。



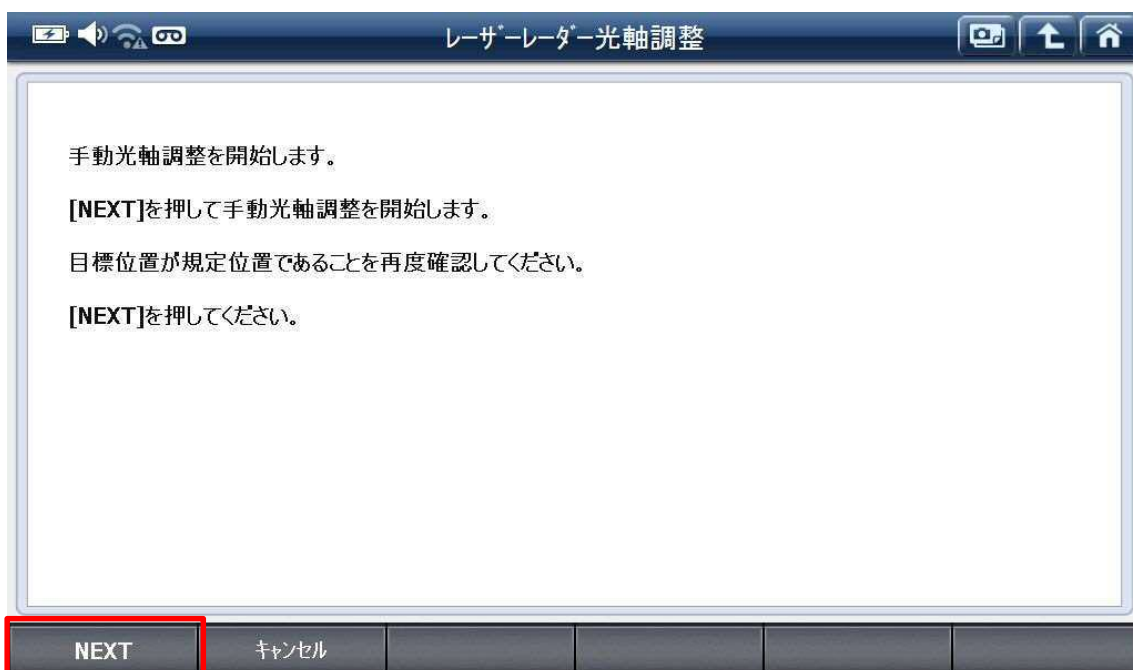
〈図:注意事項確認〉

5. 光軸調整作業を実行します。『OK』を選択してください。  
『OK』を選択した後に調整作業を完了させずに終了した場合は、故障コードが記憶されます。



〈図: 光軸調整作業開始〉

6. ターゲット位置が規定位置にあることを確認して『NEXT』を選択してください。



〈図: ターゲット位置確認〉

7. ターゲットが認識されると光軸ズレ量が表示されます。  
基準値外の場合は整備解説書を参照して向きを調整してください。



〈図：光軸調整画面〉

《基準》

- ・水平方向ズレ量：±0.5°
- ・垂直方向ズレ量：±0.5°

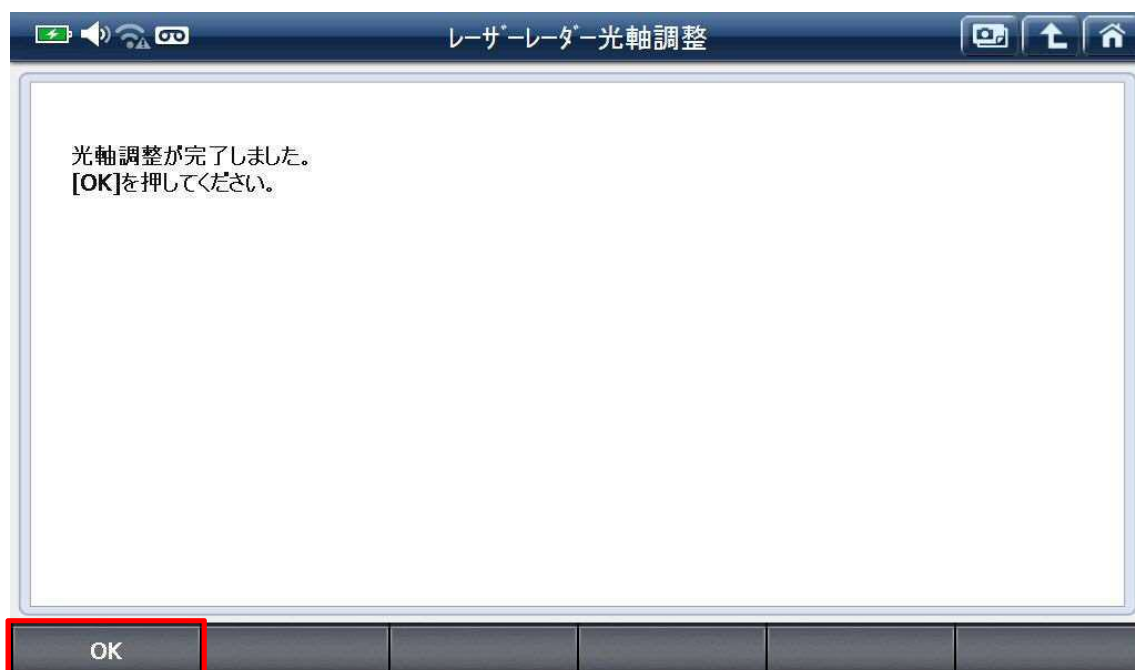
項目	内容
水平方向軸	レーザーレーダーセンサーECUの水平方向の軸ズレ方向
水平方向軸ズレ量	レーザーレーダーセンサーECUの水平方向の軸ズレ量
水平方向回転	水平方向軸ズレ量が規定値になるまでの、エイミングスクリュの回転方向
水平方向回転量	水平方向軸ズレ量が規定値になるまでの、エイミングスクリュの必要回転数
垂直方向軸	レーザーレーダーセンサーECUの垂直方向の軸ズレ方向
垂直方向軸ズレ量	レーザーレーダーセンサーECUの垂直方向の軸ズレ量
垂直方向回転	垂直方向軸ズレ量が規定値になるまでの、エイミングスクリュの回転方向
垂直方向回転量	垂直方向軸ズレ量が規定値になるまでの、エイミングスクリュの必要回転数

8. 車両に触れていない状態で画面表示の値が 5 秒以上、基準値を満たしていることを確認して『Complete』を選択してください。



〈図:調整終了画面〉

9. 『光軸調整が完了しました。』と表示されれば光軸調整完了です。『OK』を選択して作業を終了してください。



〈図:作業完了画面〉